

自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I 理念に基づく運営					
I-1. 理念と共有					
1	1	<input checked="" type="checkbox"/> ①地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	近江商人の「三方よし」教えを基に、利用者と家族・地域・職員の笑顔を追及する事を理念として作り上げている。 職員により、理解度が異なっている。		
2	2	<input checked="" type="checkbox"/> ②理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	日々、理念の実践に向け「笑顔」を意識し、取り組んでいる。 職員会議等を通じ、利用者の笑顔が引き出せる様に意見交換をしている。		
3		<input type="checkbox"/> ③家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	ホーム内に理念を知って貰う為に額を掲げている。 外に向けて、積極的な広報活動や関りは出来ない。	○	今、私達が出来た地域との関りとして、何が出来るかを全員で話し合い、身近なところから始めていける様に取り組んでいきたい。
理念と共有 3項目中 2項目					
I-2. 地域との支え合い					
4		<input checked="" type="checkbox"/> ①隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄りしてもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	一部ではあるが、気軽に立ち寄り戴ける隣近所の方は居られる。ホーム外に出た時には、出会った方には、こちらから挨拶をしているが、ホームへ立ち寄り戴けるような関わりが持ていない。		
5	3	<input checked="" type="checkbox"/> ②地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	地元自治会への加入はしている。 一部利用者は市の合唱教室に通い、喫茶店の出入りをしている。自治会への働きかけ・交流は深めるに至っていない。	○	市の教室や行事等、情報収集して、地域との関わりを持つ様な取り組みに努める。
6		<input checked="" type="checkbox"/> ③事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	個別で介護保険サービスについて説明する事はある。 地域貢献について職員間で話し合い・取り組みは明確には無いが、今後の課題である。		
地域とのつきあい 3項目中 3項目					

自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I-3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
7	4	<input checked="" type="checkbox"/> ①評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	自己評価や外部評価を実施する事によりサービスの向上や反省が出来る。 評価を活かして全体で話し合い改善に向けての取り組みがされていない。		
8	5	<input checked="" type="checkbox"/> ②運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議については、お互いの立場で話しをされるので、率直な意見も聞く事が出来、事業所で気付かないことが解り、改善に役立つと思う。 (6/13実施)	○	本音で話し合いが出来、色々な意見が欲しい。会議に出た事項をよりよいサービスに繋げていく様努める。
9	6	<input checked="" type="checkbox"/> ③市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	運営者や管理者は連携が出来ているのだと思われるが、職員は、市の担当者が誰なのか解らないし、理解出来ていない。		
10		<input checked="" type="checkbox"/> ④権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	利用者の中に権利擁護サービスを受けている方が居られる。が、それらに関する勉強会・研修会の機会が少なく、理解出来ていない職員もいる。	○	勉強会や研修会の機会があれば学びたい。制度利用の必要者には、活用出来る様支援に努める。
11		<input checked="" type="checkbox"/> ⑤虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	研修会などには、参加している。 さりげない事でも相手が傷付く事もあるので気を付けていきたい。		
理念を実践するための制度の理解と活用 5項目中 5項目					
I-4. 理念を実践するための体制					
12		<input checked="" type="checkbox"/> ①契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	管理者が契約時に説明し、了解を得ている。		
13		<input checked="" type="checkbox"/> ②運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	会議で問題を取り上げ、全員で話し合っている。又、苦情相談窓口の設置・介護相談員の受入れを行い、対応できるようにしている。		
14	7	<input checked="" type="checkbox"/> ③家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	訪問時に状況報告・健康状態・預かり金等の報告をしている。又、定期的に広報の発行・家族交流会等を実施している。	○	訪問時に利用者の日々の記録に目を通して貰い、又、その回数を増やし暮らしの様子を知って戴く様にする。

自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
15	8	<input checked="" type="checkbox"/> ④運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	苦情相談窓口の設置・地域の介護相談員の受入れを実施している。		
16		<input checked="" type="checkbox"/> ⑤運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	会議の中で意見・提案を出し、コミュニケーションを図っている。		
17		<input checked="" type="checkbox"/> ⑥柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	緊急時も含め、状況に合わせて柔軟にシフト変更している。		
18	9	<input checked="" type="checkbox"/> ⑦職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	移動は無い。又、退職に繋がらない様に、勤務時間等に配慮している。		
理念を実践するための体制 7項目中 7項目					
I-5. 人材の育成と支援					
19	10	<input checked="" type="checkbox"/> ①職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	各々の力量に応じた研修に積極的に参加をしている。		
20	11	<input type="checkbox"/> ②同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	同業者との交流は無い。しかし、各自研修に参加して交流を図っている。	○	同業者・他のグループホームの見学や意見交換の場を設けて交流を図れるように努める。
21		<input type="checkbox"/> ③職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	感謝の気持ちを言葉で表す事でストレスが軽減する事も有るので職員間でも声掛けに取り組んでいる。シフト制で救われている。 休憩する場所・時間が取れず、環境作りは万全でない。	○	仕事から離れ息抜きが出来る場所・時間の確保に努める。 運営者・管理者は職員が安心して相談にのれる状態に努める。
22		<input checked="" type="checkbox"/> ④向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	資格取得に支援し、職場内で活かせる様に努めている。		
人材の育成と支援 4項目中 2項目					

自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
II-1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
23		<input checked="" type="checkbox"/> ①初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	利用前に事前面談を行い、本人の置かれている状況を聴く機会を設けている。全職員にはミーティング等で連絡をしている。入居前に体験入居の受入れを行い、双方の利用見極めに努めている。		
24		<input checked="" type="checkbox"/> ②初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	事前に話し合いの場を持ち、悩み・苦しみ等、聴かせて貰い、信頼関係を築いている。		
25		<input checked="" type="checkbox"/> ③初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	相談を受けた時点で面接を行い、本人・家族の必要とする支援に対応しているが、面接直後の入居が多い。訪問看護サービス・訪問理美容サービスを行なっている。		
26	12	<input checked="" type="checkbox"/> ④馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	事前にホームの見学・体験入居の利用を実施している。家族の思い・意向で入居が決定している事がある。直に入居となるケースが多いので本人の不安を和らげ、安心感を持って生活出来る様取り組んでいる。		
相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応 4項目中 2項目					
II-2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
27	13	<input checked="" type="checkbox"/> ①本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜ぶ喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	人生の先輩として、日々の会話や生活の中で教えて戴く事が、沢山有り、勉強になっている。家庭の延長で生活を送れる様に一人ひとりを支援している。		
28		<input checked="" type="checkbox"/> ②本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	面会に訪れた際に、日々の状況を報告し且つ過去の情報を入手し、家族と信頼関係を築いている。家族の理解や協力を得て、定期受診や季節毎の衣料の入れ替え等をお願いしている。		
29		<input checked="" type="checkbox"/> ③本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	家族と一緒に過ごす時間を持つ事を勧めたり、年に1度家族交流会を設けている。通院・外出・外泊等の機会を持つ事で、在宅と変わらぬ関係を保って行ける様、支援している。		

自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
30		<input checked="" type="checkbox"/> ④馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れな いよう、支援に努めている	馴染みの人が気楽に訪れる様声掛けにて支援して いる。また、その雰囲気作りに努めている。		
31		<input checked="" type="checkbox"/> ⑤利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関 わり合い、支え合えるように努めている	気の合う人、逆の人同士、席を工夫し、自然に会話が出 来る様に、日々見守りながら、トラブルを防ぐ様に努めて いる。 お茶や食事職員と一緒に摂り、コミュニケーションを 図っている。		
32		<input checked="" type="checkbox"/> ⑥関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者 や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	余命幾許もない方が退所された時は、見舞いに行ったり、 逝去された時には通夜・葬儀に参列した。又、他施設に移 られた方はその施設に向いた折に面会をしている。が、 退所された時点で、終わっている場合も有る。		
新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援 6項目中 6項目					

自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
Ⅲ-1. 一人ひとりの把握					
33	14	<input checked="" type="checkbox"/> ①思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	我家に近い状態で暮らして貰える様、本人に寄り添う介助に努めている。 家族の思いが優先している時がある。		
34		<input checked="" type="checkbox"/> ②これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	フェイスシートで確認したり、日々の利用者との会話や家族の訪問時に情報を得ている。 が、どこまでが情報取得の範囲なのかが難しい。		
35		<input checked="" type="checkbox"/> ③暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	利用者一人ひとりの変化に留意し、その人の持っている力を活かし支援する様心掛けています。		
一人ひとりの把握 3項目中 3項目					
Ⅲ-2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
36	15	<input checked="" type="checkbox"/> ①チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	介護計画を作成し、本人・家族の希望や職員の意見等は日々の生活の中で工夫し、月毎に気づきをまとめて記録をしている。		
37	16	<input checked="" type="checkbox"/> ②現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	月1回(緊急時随時)の職員会議で情報や気づきについて、話し合っている。	○	介護計画作成に取り組む、状況に応じ見直しカンファレンスを実施していく。
38		<input checked="" type="checkbox"/> ③個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	処遇日誌等の記入で日々の情報を共有し、全員が把握出来るようにしている。 職員の工夫や気づきの記入が、まだまだ少なく、問題発生時の情報がきちんと伝わっていない事があり、記録内容だけで把握出来ない事もある。		
介護計画の作成と見直し 3項目中 3項目					
Ⅲ-3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
39	17	<input checked="" type="checkbox"/> ①事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	通院は家族で対応願っているが、現状に応じて柔軟に送迎している。医療連携体制を取っている。		
多機能性を活かした柔軟な支援 1項目中 1項目					

自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
		Ⅲ-4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働			
40		<input checked="" type="checkbox"/> ①地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	図書館や地域のコーラスグループへの参加等の利用はあるが、他の機関との協力関係は乏しい。早朝にシルバー人材センターより、地域の会員の派遣を受けている。		
41		<input checked="" type="checkbox"/> ②他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	月2回訪問による音楽療法の利用をしている。理美容希望者の体調により、訪問カットサービスを利用している。		
42		<input checked="" type="checkbox"/> ③地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	運営推進会議に地域包括支援センター職員の参加を願っている。又、権利擁護サービスの利用者が居られる。		
43	18	<input checked="" type="checkbox"/> ④かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人・家族の了解の上、個々に応じた対応をしている。又、協力医の往診も随時受けている。緊急時には、家族に連絡の上、職員が対応している。		
44		<input checked="" type="checkbox"/> ⑤認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	認知症の専門医ではないが、近くの総合病院の精神・神経科の医師が家族の話を良く聴いて貰っている。日常の利用者の様子で適切な指示・助言の上、内服薬の処方をして貰っている。		
45		<input checked="" type="checkbox"/> ⑥看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	医療連携体制が整い、訪問看護師に健康管理・医療面での相談に対応して貰っている。		
46		<input checked="" type="checkbox"/> ⑦早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	病院関係者との情報交換に努め、退院出来る条件を相談し、元の生活に戻れる様にしている。又、入院時には、時々職員が訪問している。		
47	19	<input checked="" type="checkbox"/> ⑧重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	日々の健康管理や急変時に対応出来る様、訪問看護ステーション医療連携体制を結んでいる。重度化や終末期に向けた方針については、まだ職員間での共有が不完全である。		

自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
48		<input checked="" type="checkbox"/> ⑨重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	現在対象者は居られないが、終末ケアは重く難しい。その上で、職員の気持ちを1つに出来る様に、出来る事・出来ない事を理解した中で取り組みをしているところである。		
49		<input checked="" type="checkbox"/> ⑩住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	家族によって、住み替えが決定されている。移り住む前には、ホームでの状況は詳しく伝達を行なっている。		
地域資源との協働 10項目中 10項目					


自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
IV-1. その人らしい暮らしの支援					
IV-1. (1) 一人ひとりの尊重					
50	20	<input checked="" type="checkbox"/> ①プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーに配慮した言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしている	排泄介助等プライバシーを護り、本人を傷付けない様、言葉掛けに配慮している。 個人情報・個人記録等の取り扱いに気を付けている。		
51		<input checked="" type="checkbox"/> ②利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	意思表示出来る人には自己決定を、伝えられない人には場面毎に状況を把握し自己決定に繋げる様努めている。		
52	21	<input checked="" type="checkbox"/> ③日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者の個性を大切に、ほぼ希望通りの生活を送って戴いているが、職員の都合を優先しない様努めている。 常時見守りを要する方も居られ、そちらに手を取られ、希望する過ごし方が出来ない時がある。		
その人らしい暮らしの支援 (1)一人ひとりの尊重 3項目中 3項目					
IV-1. (2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
53		<input checked="" type="checkbox"/> ①身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	本人が翌日着たい洋服の選択・季節に応じた洋服の購入等、出来る限り自己決定にて、おしゃれを楽しめる様支援している。 行きつけの理美容店には、定期的に行ける様支援している。 お化粧を楽しむ方にも随時支援している。		
54	22	<input checked="" type="checkbox"/> ②食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者・職員と一緒に食事のメニュー作り・準備・盛り付け・片付けは協力し、また、コミュニケーションを取りながら、出来た食事を共に食している。		
55		<input checked="" type="checkbox"/> ③本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	誕生日やイベント時には特に飲食を楽しめる様努めている。 個人の好みにより、お菓子の購入をし、居室で楽しんで貰っている。		
56		<input checked="" type="checkbox"/> ④気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	歩行可能な入居者にはトイレ使用を支援している。 夜間紙パンツを使用している人でも昼間は布パンツにパットでトイレ排泄に支援している。 常時オムツ使用の方についても昼夜定期的なパット交換を行い気持ちよく過ごして戴ける様努めている。		
57	23	<input checked="" type="checkbox"/> ⑤入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	一人ひとり入浴出来、プライバシーに配慮している。 入浴は時間・曜日など現状では職員の都合が優先されているが、希望があれば随時対応している。しかし、朝風呂・夜間入浴は現在の人員配置では行なう事が出来ないでいる。		

自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
58		<input checked="" type="checkbox"/> ⑥安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	日中はなるべく活動してリズムのある生活を、また、個別に疲労度を見極め休息する等支援している。 季節の移り変わりに応じて就寝前に部屋の温度に注意し、冷・暖房空調設備にて温度調整をしている。		
その人らしい暮らしの支援 (2)基本的な生活の支援 6項目中 6項目					
IV-1. (3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
59	24	<input checked="" type="checkbox"/> ①役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	毎日の掃除・新聞の取り入れ・庭の水遣りを自分の役割として行っている人も居られる。職員の声掛けにて食事の準備・後片付け・洗濯物畳み等個々の出来る範囲での参加がある。 ホーム内での気晴らし・ボランティアの訪問も現在は限られており、居眠りしている人が多いのが現状である。		
60		<input checked="" type="checkbox"/> ②お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	金銭管理の可能な方には自分の財布を持ち、買い物時には自分で支払いを行なっている。 無理な方の希望の品目・生活必需品の購入援助は家族の方より預かった小遣い金より購入支援している。		
61	25	<input checked="" type="checkbox"/> ③日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	一部の方は、希望により地域活動(音楽教室)への参加支援をしている。 散歩や買い物になるべく出掛けられる様に努めている。		
62		<input checked="" type="checkbox"/> ④普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	家族と共に外出出来る方は普段とは違う所へ出掛けられる。 ホームでは年に数回は家族交流・お花見・ドライブ等希望者で実現している。 しかし、日常的な支援でしか出来ず、利用者が広告など見て行きたいと希望する遠く場所への支援は出来ないでいる。 一部の方ではあるが、県外のお墓参りに付き添った。		
63		<input checked="" type="checkbox"/> ⑤電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	利用者が、家に電話をしたい・年賀状を書きたい等の希望に応じて対応している。		
64		<input checked="" type="checkbox"/> ⑥家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	訪問時間等は決めてなく、何時でも気軽に訪問して戴ける様に努めている。 訪問者へは、お茶などを出して、ゆっくりと過ごして戴ける様に努めている。		
その人らしい暮らしの支援 (3)社会的な生活の支援 6項目中 6項目					
IV-1. (4) 安心と安全を支える支援					
65		<input checked="" type="checkbox"/> ①身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束はいけないとの認識を共有して、拘束をしない取り組みに努めている。 転倒し骨折された事のある利用者には、夜間ベッドからの転落防止の為、家族の了解を得て、ベッド柵を使用している。		

自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
66	26	<input checked="" type="checkbox"/> ②鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	日中、玄関や居室には鍵を掛けないケアに取り組んでいる。		
67		<input checked="" type="checkbox"/> ③利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	常に利用者と同じ空間に居て、所在の把握に努め、安全に配慮している。 起床時に於いては、全介助を必要とする方の介助時には、見守れない時もある。		
68		<input checked="" type="checkbox"/> ④注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	一部の方には、ハサミ・カミソリ・貼り薬などの保管が可能である。 一人ひとりの状態を把握しながら、事故防止に努めている。		
69		<input checked="" type="checkbox"/> ⑤事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	日々の業務日誌や連絡帳に記録された事は、各々が注意をし事故防止に努めている。 ヒヤリ・ハット報告書に記録を残し、事故防止に繋がる取り組みが出来ていない。		
70		<input type="checkbox"/> ⑥急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	職員連絡体制の整備と緊急時の通報システムの導入がされている。一部職員は救急救命講習を受けているが、当ホームとして実施出来ていない。	○	一部救急救命講習の未受講者の受講をする。また、定期的に講習会の受講に努めたい。 急変時・火災時等の対応を文書化する。
71	27	<input type="checkbox"/> ⑦災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	警備会社に通報するシステムを利用する。 避難訓練が出来ていない。(地域の人々の協力を得られる働きかけが出来ていない)	○	避難訓練・避難方法を地域との関りの中で実施に努める。
72		<input checked="" type="checkbox"/> ⑧リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている	利用者本人に変化の有った時や、家族の訪問時に日々の説明をする事に努めている。		
その人らしい暮らしの支援 (4)安心と安全を支える支援 8項目中 6項目					
IV-1. (5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
73		<input checked="" type="checkbox"/> ①体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	個々の体調の変化を早期に気付き、バイタルチェックを行い、訪看に連絡を取り、対応している。また、変化時の記録を残し、受診時の情報としている。		

自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
74		<input checked="" type="checkbox"/> ②服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	服薬の確認・飲み忘れ・渡し間違いによる誤飲を防ぐ為に、薬の準備・手渡し飲用確認・飲用介助を複数の職員で手分けしている。 薬の内容が変わった時は、通院記録に記入し、全職員が把握し、副作用のリスク等をチェックしている。		
75		<input checked="" type="checkbox"/> ③便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	毎日の体操・水分補給・食事の内容に工夫している。 排泄チェックを記録に残し、個々の状態を把握し、重症とならないように努めている。		
76		<input checked="" type="checkbox"/> ④口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	朝・夕の口腔ケア・義歯の手入れ・管理を行なっている。個人によっては、昼も行なっている。		
77	28	<input checked="" type="checkbox"/> ⑤栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	三食に汁物を用意し、又、何時でも水分が取れる様に身近な所にやかんを置いて自由に飲む事が出来る様にしている。 月に一度体重測定を行い、食事量の調整の目安にし、各々の状態に合わせた工夫が出来る様に支援している。		
78		<input checked="" type="checkbox"/> ⑥感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	インフルエンザの予防接種は利用者・職員全員が受ける様にしている。 ノロウイルスや食中毒等の予防策の一つとして、薬用手洗い石鹸使用後手拭はペーパータオル使用。排泄介助等の後は、その上アルコール消毒を行なっている。		
79		<input checked="" type="checkbox"/> ⑦食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	食中毒予防の為、食器類・調理器具等は洗浄後乾燥機にて完全乾燥をしている。 食材については小まめに買出しを行い、賞味期限切れとならない様に常にチェックして、新鮮な物を使用している。		
その人らしい暮らしの支援 (5)健康面の支援 7項目中 7項目					
IV-2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
IV-2. (1) 居心地のよい環境づくり					
80		<input checked="" type="checkbox"/> ①安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	花壇やプランターに不十分なが、季節の花や野菜を植えて、塀などの設置はしていない。		
81	29	<input checked="" type="checkbox"/> ②居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共用の空間には、季節に見合った花を飾り、壁面等のレイアウトも家庭的な雰囲気作りに努めている。 各所に換気扇・空気清浄機を置いて気持ちよく過ごせる様に努めている。		

自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
82		<input checked="" type="checkbox"/> ③共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	居間や廊下にソファを置き、一人で過ごしたり、気の合った人との談話ができる様に工夫をしている。		
83	30	<input checked="" type="checkbox"/> ④居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室には、本人馴染みの家具・装飾品・写真を持ち込み、居心地よく過ごせる様努めている。		
84		<input checked="" type="checkbox"/> ⑤換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のおよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	各居室・トイレ・居間・廊下等に換気扇・空気清浄機の設置をして、臭いが籠らない様に努めている。 季節に応じて空調設備等を利用しながら、外気との温度調節に努めている。 排泄後に消臭スプレー等の使用をしている。		
生活環境づくり (1)居心地のよい環境づくり 5項目中 5項目					
IV-2. (2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり					
85		<input checked="" type="checkbox"/> ①身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	玄関以外は段差は無く、安全に移動出来る様になっていて、見守りながら、自立への支援をしている。 重度化された方には、風呂場・トイレの構造が対応に困難である。		
86		<input checked="" type="checkbox"/> ②わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	各居室のドアが同じ為、入り口に異なる造花・柄違いの暖簾を付けている。入居当初は間違い防止に氏名を書きドアに貼っている。 本人が困って居る事・混乱している事に気が付き声掛けに努めている。		
87		<input checked="" type="checkbox"/> ③建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	散歩をしたり、玄関前のベンチやベランダに座って日向ぼっこが出来様になっている。 不十分ですが、庭やプランターに花を植えたり、ミニ野菜を作っていて、水遣りも利用者の日課となっている。		
生活環境づくり (2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり 3項目中 3項目					

( 部分は外部評価との共通評価項目です)

V. サービスの成果に関する項目		取り組みの成果 (該当する箇所の番号の左横に○印をつけること)
項目		↓○印欄
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	○ ①ほぼ全ての利用者の ②利用者の2/3くらい ③利用者の1/3くらい ④ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○ ①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○ ①ほぼ全ての家族と ②家族の2/3くらいと ③家族の1/3くらいと ④ほとんどできていない
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○ ①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない

項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所の番号の左横に○印をつけること)
		↓○印欄
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	<input type="radio"/> ①大いに増えている <input type="radio"/> ②少しずつ増えている <input type="radio"/> ③あまり増えていない <input type="radio"/> ④全くいない
98	職員は、生き生きと働けている	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> ②職員の2/3くらいが <input type="radio"/> ③職員の1/3くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> ③利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> ②家族等の2/3くらいが <input type="radio"/> ③家族等の1/3くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

誰に対しても、笑顔で接し、訪問者が「また、来ます」という事場で帰られ、再訪される様努めている。

評価結果整理表

個 別 表	□のチェック項目数
I 理念に基づく運営	
－1. <input type="checkbox"/> 理念と共有	2 項目/3項目
－2. <input checked="" type="checkbox"/> 地域との支え合い	3 項目/3項目
－3. <input checked="" type="checkbox"/> 理念を実践するための制度の理解と活用	5 項目/5項目
－4. <input checked="" type="checkbox"/> 理念を実践するための体制	7 項目/7項目
－5. <input type="checkbox"/> 人材の育成と支援	2 項目/4項目
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	
－1. <input checked="" type="checkbox"/> 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応	4 項目/4項目
－2. <input checked="" type="checkbox"/> 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	6 項目/6項目
III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	
－1. <input checked="" type="checkbox"/> 一人ひとりの把握	3 項目/3項目
－2. <input checked="" type="checkbox"/> 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	3 項目/3項目
－3. <input checked="" type="checkbox"/> 多機能性を活かした柔軟な支援	1 項目/1項目
－4. <input checked="" type="checkbox"/> 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働	10 項目/10項目
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	
IV－1. その人らしい暮らしの支援	
－1. (1) <input checked="" type="checkbox"/> 一人ひとりの尊重	3 項目/3項目
－1. (2) <input checked="" type="checkbox"/> その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援	6 項目/6項目
－1. (3) <input checked="" type="checkbox"/> その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援	6 項目/6項目
－1. (4) <input type="checkbox"/> 安心と安全を支える支援	6 項目/8項目
－1. (5) <input checked="" type="checkbox"/> その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援	7 項目/7項目
IV－2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	
－2. (1) <input checked="" type="checkbox"/> 居心地のよい環境づくり	5 項目/5項目
－2. (2) <input checked="" type="checkbox"/> 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり	3 項目/3項目

総合評価

I 理念に基づく運営 (3項目/5項目)について

ほ一むの理念を、家族や地域に、より深く理解して頂くためにも、不定期発行の広報誌を定期的に発行出来る様に努め、地域の開かれたグループホームとして、地域の事業に積極的に参加していく。また、理念を実践する為の制度等の理解を深め活用する為に研修等の受講や、近隣の同業者との交流の機会を設ける。

II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援 (2項目/2項目)について

本人や家族等との安心や信頼に向けた関係づくり、なじみの深い関係づくりの支援を引き続き支援していく。

III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント (4項目/4項目)について

本人が安心して暮らし続けるため、より良いプラン作りをして、実践に繋げていく。

IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 (6項目/7項目)について

その人らしい暮らしを安心して続けていくため、日々の支援もとより、災害時に備えて職員の災害時対応の意識を高める為にも、救急救命講習の受講を実施し、また、避難訓練を実施し、地域住民の協力を得られる様に努めていく。

V サービスの成果に関する項目について

利用者・家族及び職員の満足度は、比較的高いが、更に地域の満足度も上がる様に取り組んでいく。

☆サービスの質の向上に向けて、取り組む課題と優先順位、具体的な行動の計画

評価年月日： 19年 9月 30日

前回評価年月日： 年 月 日

サービスの質の向上に向け取り組む課題			取り組み期間 (○年○月～ ○年○月まで)	改善に向けた具体的な行動	達成度評価	次期 評価 実施 時期
評価項目番号	優先順位	内容				
3	1	ほむの理念を外に向けて積極的に周知していく。	20年1月～	不定期だった広報を定期的に発行としたい。		
5	3	隣り近所の人に気軽に立ち寄って貰える様な付き合いを目指す	20年1月～	地域の行事に積極的に参加していく。		
8	3	運営推進会議を活かした取り組み	20年1月～	自治会の参加の誘致・2ヶ月に1回開催		
10	6	権利擁護に関して理解が薄い。	20年1月～	関連した研修に積極的に参加する。		
14	1	家族等への報告	20年1月～	広報の発行を定期的に出来る事を目指す。		
20	7	同業者との交流を通じた向上	20年1月～	同業者・他地域のG・Hの見学や意見交換等交流を図る。		
21	4	職員のストレス軽減に向けた取り組み	20年1月～	仕事から離れ息抜きが出来る場所・時間の確保をする。		
37	2	現状に即した介護計画の見直し	20年1月～	急変時はもとより、3ヶ月に1度の見直しを行なう。		
70・71	5	急変や事故発生時の備え及び災害対策	20年1月～	職員の救命救急講習の受講と地域住民との避難訓練の実施		